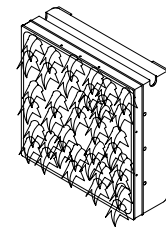


# 杉孝緑化ウォールシリーズ

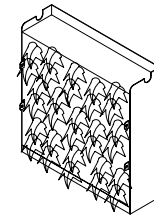
## SR-P

■ブロックタイプ  
 一般に基盤造成といわれるタイプ。  
 土壌基盤には固形土壌を使用し農場にて植栽し養生を行う。  
 固形土壌を入れるケースはポリプロピレン製と  
 ステンレス製があり、いずれも背面にフックがあり  
 最上段のパネルを固定することで、構造体と一体となる。  
 パネルサイズ：W300×H300×D90（植栽含まず）

## ブロックタイプ



SR-P (PPケース)



SR-P (SUSケース)

特願、特願PCT

## SR-C

■登はんタイプ  
 コンテナと養生メッシュを一体型とし、つる性植物を現場設置前に  
 農場にて養生期間を設けることで養生メッシュに十分に登はん  
 させて設置時に必要な緑比率を確保することができる。

■下すいタイプ  
 上記登はんタイプと同様の一体型で躯体状況に  
 合わせて養生メッシュをコンテナからの下すいを  
 補助するように配置した。

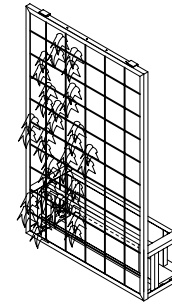
■キューブタイプ  
 W500×H500×D500の溶融亜鉛メッキの籠に  
 不織布の中に土壌を入れて中心に中木、周囲に地被を  
 植栽する。使用する植物を変えることで印象が変わる  
 ため様々な使い方ができる

■キューブロングタイプ  
 上記のキューブタイプに登はん補助用の籠を連結させて  
 つる性植物を植栽養生することで緑の柱を構成する。

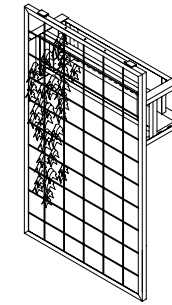
## 登はんタイプ

## 下すいユニットタイプ

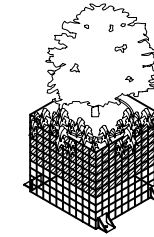
## キューブタイプ



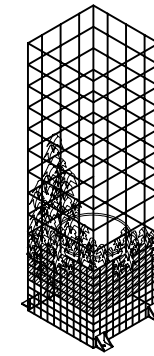
登はんタイプ



下垂ユニットタイプ



キューブタイプ



キューブロングタイプ

特願、意匠

## SR-F

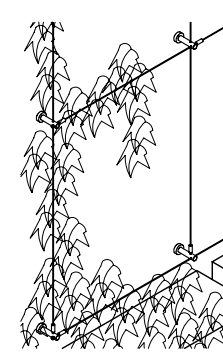
つる性植物を登はん補助するための資材。  
 各タイプとも構造体（壁体）に対して取り付ける構造とする。

## ワイヤータイプ

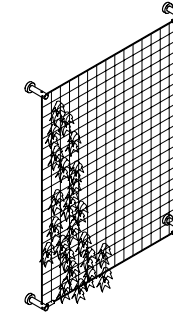
## ネットタイプ

## メッシュタイプ

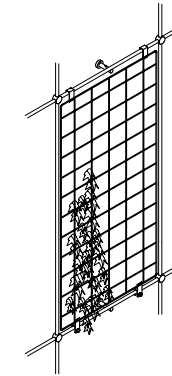
## マットタイプ



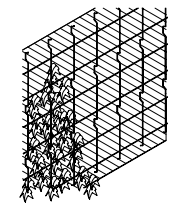
ワイヤータイプ



ネットタイプ



メッシュタイプ



マットタイプ

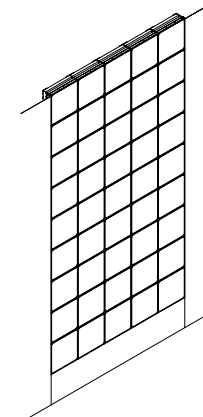
## SR-K

■パネルシステム  
 SR-Pを用いて仮想的に壁面緑化を構成できるシステム。  
 一般的な仮囲いパネルと互換性があるため、既に設置している  
 仮囲いにも壁面緑化を組み込みことが可能なシステム。  
 サイズ：W1500×H3000×D300

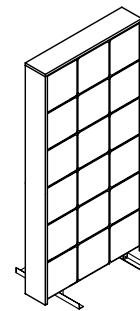
■自立システム  
 SR-Pを用いて仮想的に壁面緑化を構成できるシステム。  
 フレームにカウンターウェイトを設けて耐風性を考慮した自立可能な  
 システム。イベントなどのパーティーション等に適している  
 サイズ：W900×H1800×D600

## パネルシステム

## 自立システム



パネルシステム (PP)



自立システム

特願、特願PCT